

結果の要約

1 職業

岡山県の15歳以上就業者数(932,588人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業員」が298,374人(15歳以上就業者数の32.0%)と最も多く、次いで「事務従事者」が161,502人(同17.3%)、「専門的・技術的職業従事者」が124,886人(同13.4%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が10,774人(14.2%)増、「保安職業従事者」が739人(6.7%)増となっている。一方、「管理的職業従事者」が5,113人(20.3%)減、「運輸・通信従事者」が2,766人(7.6%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「生産・運輸関係職業」が35.6%と最も高く、次いで「事務・技術・管理関係職業」が32.9%、「販売・サービス関係職業」が23.7%、「農林漁業関係職業」が6.4%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」が0.9ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」、「事務・技術・管理関係職業」、「農林漁業関係職業」がそれぞれ1.1ポイント、0.4ポイント、0.1ポイント低下している。

「事務・技術・管理関係職業」 = 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」 = 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業員」
「販売・サービス関係職業」 = 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」 = 「農林漁業作業員」

2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は41.1時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が49.1時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が46.2時間、「管理的職業従事者」が44.7時間などとなっている。平成12年と比べると、「保安職業従事者」が0.6時間増となっている。一方、「販売従事者」及び「サービス職業従事者」が1.8時間減などとなっている。

3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が223,402組(夫婦数487,060組の45.9%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が140,832組(同28.9%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「生産工程・労務作業員」である夫婦が27,947組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の12.5%)と最も多く、次いで夫が「生産工程・労務作業員」、妻が「事務従事者」である夫婦が21,410組(同9.6%)などとなっている。

4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は211,769世帯(住宅に住む一般世帯713,176世帯の29.7%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は501,407世帯(同70.3%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が187,393世帯(同26.3%)、「女性のみ」の世帯が95,028世帯(同13.3%)、「幼児と女性のみ」の世帯が39,155世帯(同5.5%)、「高齢者と女性のみ」の世帯が38,869世帯(同5.5%)となっている。

図1 岡山県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

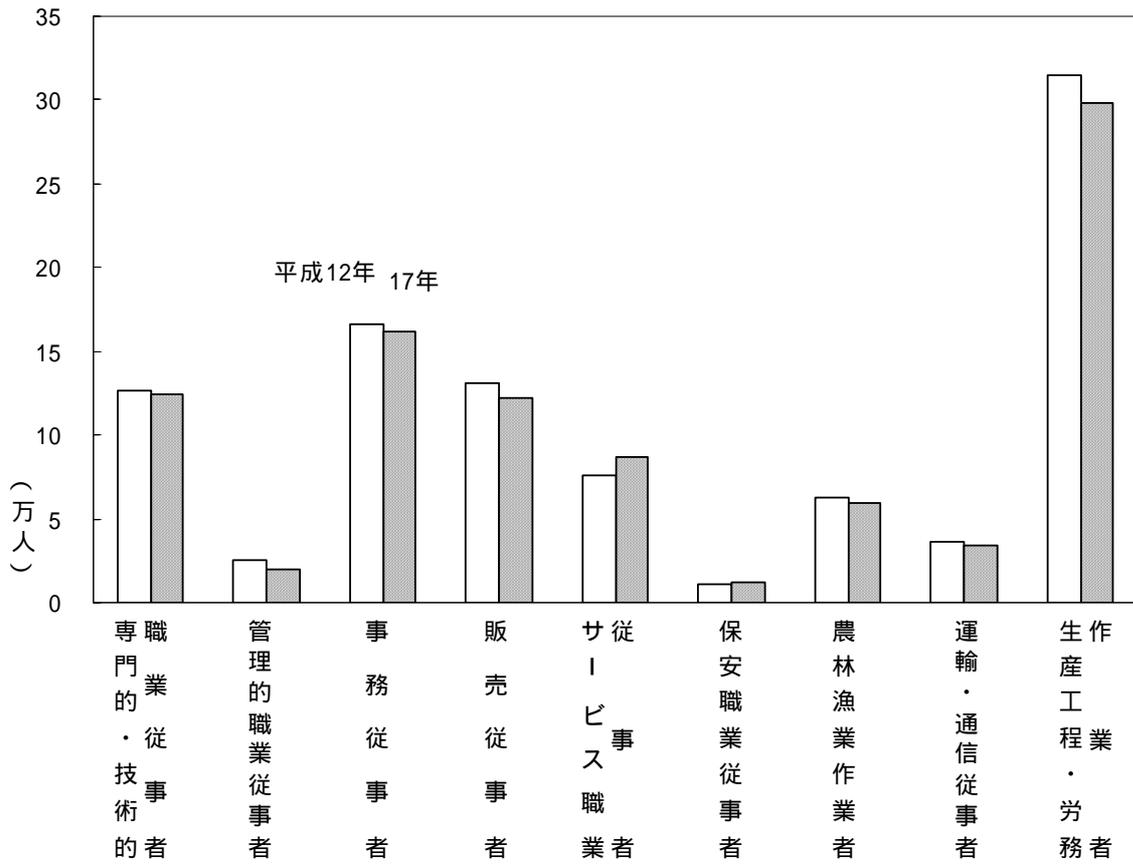


図2 岡山県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

